

Challenging Spirits for Frontier.

第85期 株主通信

2018.4.1 ~ 2019.3.31

特集：シナネンエコワーク株式会社のご紹介





取締役会長 崎村 忠士

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループの第85期(2018年4月～2019年3月)

業績ならびに事業活動等についてご報告いたします。

当期のポイント

1. 暖冬の影響でガス・石油類の販売数量は減少するものの、販売単価の上昇で売上高は横ばい
2. 当社連結子会社での不適切な会計処理の影響もあり減益
3. シェアサイクル事業を独立させ、シナネンモビリティPLUS(株)へ

Q 経営環境について

当期のわが国経済は、緩やかな回復が続いています。しかしながら、米中通商問題や、株式市場の変動、世界経済の減速感等、先行きは依然として不透明な状況が続いています。

国内エネルギー業界においては、上昇が続いていた原油価格、プロパンCPともに、11月以降下落に転じ、年度末にかけて若干持ち直しました。一方で、国内人口の減少、省エネ機器の普及、節約志向の高まり等に加え、当期は平年を上回る気温が続いたことから、家庭・業務用プロパンガスの需要は減少しています。

Q 業績について

このような環境の中、当社は「第一次中期経営計画～総合エネルギーサービス企業グループへの進化～」の2年目となる当期において、グループ収益構造改革を目指し、積極投資による非石油・ガス事業の拡大に取り組みました。一方、当社の連結子会社であるミライフ西日本株式会社のソリューション事業部門における不適切な会計処理が行われていたことが決算に影響しました。株主の皆さまには多大なるご心配とご迷惑をおかけしたことを、心より深くお詫び申し上げます。

当期の業績については、売上高2,445億67百万円(前期比0.1%増)、営業利益16億70百万円(前期比50.1%減)、経常利益21億58百万円(前期比45.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は15億88百万円(前期比44.6%減)となりました。

『エネルギー卸・小売周辺事業(B to C事業)』においては、石油・ガス事業では引き続きM&Aを中心とした事業基盤拡大に取り組みました。関東エリアでは物流効率化のための合併会社がスタートしたことに加え、リフォーム需要に対応したリフォーム専門のパイロットショップをオープンしました。また、西日本エリアでは、石油・ガス事業の基盤拡大のため、三河品川燃料株式会社の完全子会社化を進めました。しかしながら、上記の不適切な会計処理以外によるものを含め、合計9億37百万円のマイナス影響がありました。

『エネルギーソリューション事業(B to B事業)』においては、石油事業では、販売数量が減少する中、市況の変化に対応した仕入・販売施策により収益を確保しました。また、電力事業では、電源調達体制の見直し等により収益が順調に推移しました。PV(太陽光発電)関連事業では、自家使用PV販売に注力するとともに、メンテナンス事業の拡大に努めました。防水パン事業では新商材の好調な販売に支えられ収益を拡大しました。加えて、海外への事業展開も進め、アジアでのエネルギーソリューション事業、再生可能エネルギー事業をスタートさせました。

『非エネルギー及び海外事業』においては、自転車事業のシナネンサイクル株式会社は、シェアサイクル事業の展開を進め、3月末時点で約800カ所のステーションに自転車約2,000台を設置しました。なお、当シェアサイクル事業は、2019年4月1日に当社100%子会社であるシナネンモビリティPLUS株式会社として、新たなスタートを切っています。

環境・リサイクル事業の品川開発株式会社は、2018年10月に埼玉県白岡市で木質系産業廃棄物リサイクル工場の操業を開始し、今後、成長が期待される環境に優しいバイオマス燃料事業の拡大を進めました。また、2019年4月1日、品川開発株式会社からシナネンエコワーク株式会社に商号変更を行っています。

抗菌事業の株式会社シナネンゼオミックは、水処理分野向け新製品の投入、繊維分野での大型案件の継続受注など抗菌事業の拡大を進めました。また、海外各国の諸規制に対応し、欧州、インド、ASEAN諸国への進出基盤の構築を進めました。

システム事業の株式会社ミノスは、主力のLPガス販売管理システムと電力自由化に対応する顧客管理システム(電力CIS)でサービス提供件数を大きく増やしました。

建物維持管理事業のタカラビルメン株式会社は、病院、斎場の運営支援業務が堅調に推移しました。また、集合住宅向け設備工事・リフォーム工事等のサービスを強化しました。

ブラジルのバイオマス事業では、多年草CAPIMを活用した民生用炭を商品化し、現地最大手のスーパーマーケットでの販売を12月に開始し、取扱店舗を着実に増やしています。

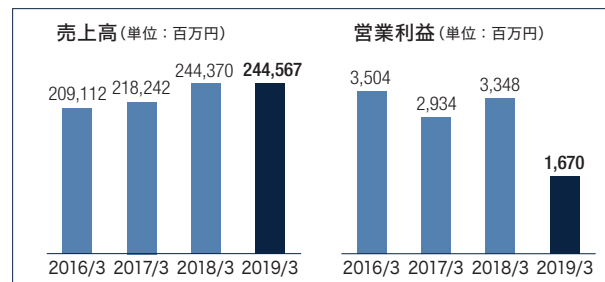
Q 今後の取り組みについて

上記の不適切な会計処理については、特別調査委員会による最終の調査報告書の提言を踏まえ、早期に具体的な再発防止策を策定し、コーポレートガバナンスの強化及びコンプライアンスの徹底を行ってまいります。

事業においては、石油・ガス事業の更なる効率化を進め、また非石油・ガス分野で、次世代のコアとなり得る事業を開拓していくことだと考えています。具体的には、石油・ガス事業では競争力を維持するため、M&Aによる顧客基盤の拡大や他社提携を含めた物流合理化施策などのコスト効率化を推進します。また、建物維持管理事業、シェアサイクル事業の事業拡大に向けた投資を行うほか、新社長に就任した山崎正毅が中心となって、新規事業開発に向けた取り組みを進めています。さらに、国内に限らず、アジアでのエネルギーソリューション事業、再生可能エネルギー事業、ブラジルでのバイオマス事業を早期に収益化し「グローバル総合エネルギーサービス企業グループ」への足掛かりとすることを目指します。

Q 株主還元策について

当社は、株主各位に対する利益還元を経営の最重要政策と位置づけ、連結配当性向30%以上を目安に、配当を基本とした株主還元を実施していきます。また、内部留保資金につきましては、事業領域拡大の原資及び事業基盤強化に向けた設備投資等に充当していく予定です。また、当期の配当としては、1株当たり75円を予定しています。次期の配当についても1株当たり75円を予定しています。





持続的成長と企業価値の向上を目指して！

株主の皆様におかれましては、平素格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
この度、私、山崎正毅が代表取締役社長に就任いたしました。

はじめに、当社連結子会社の不適切な会計処理により、株主の皆さまには多大なるご心配とご迷惑をおかけしたことを、心より深くお詫び申し上げます。今後、内部統制上の改善に取り組み、コーポレートガバナンスの強化及びコンプライアンスの徹底を行ってまいります。

当社グループのコア事業である石油・ガス事業を取り巻く環境は、温暖化現象、国内人口の減少、省エネ機器の普及、節約志向の高まり等により更に厳しい状況を迎えております。一方で市場においては電力・都市ガス小売の全面自由化により、競争が激化し市場構造の変化を迫られています。

かかる環境変化において当社グループは、エネルギー供給を目的とする会社から、地球環境に優しいエネルギー供給を手段とし、お客様の快適な住まいと暮らしを実現する「総合エネルギーサービス企業グループへの進化」を目指した「第一次中期経営計画」を2017年4月より実施してまいりました。事業の集中と選択を加速させ、既存事業の基盤強化と効率化により経営体質の強化を図るとともに、積極的な経営資源の投資により、次世代のコアとなり得る事業を開拓し、さらなる成長と進化を目指してまいります。

当社グループ一丸となって継続的な企業価値向上を図り、株主の皆様の期待に応えるべく全力で取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご指導とご鞭撻を賜りますとともに、当社グループをご支援いただきたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

2019年6月

シナネンホールディングス株式会社
代表取締役社長
山崎 正毅

略 歴

1979年 4月 AIU保険会社入社
1996年 1月 Walt Disney Enterprise, Japan入社(現The Walt Disney Company, Japan) Finance Director
2001年 1月 Electronic Arts, Japan入社 CFO, Vice President
2004年 4月 Vale, Japan株式会社入社 取締役財務・経営管理担当
2012年12月 同社 代表取締役副社長
2016年 6月 当社 取締役(社外) 監査等委員(常勤)
2018年 6月 当社 代表取締役副社長
2019年 6月 当社 代表取締役社長に就任

特集 シナネンエコワーク株式会社のご紹介

■シナネンエコワーク株式会社の概要

廃木材(木くず)を破碎・加工した木質チップの生産、廃棄物リサイクル燃料および建材・製紙等の原料の安定供給、その他各種産業廃棄物の処理・リサイクルのご提案をしています。

2019年4月1日、「シナネンエコワーク株式会社」に商号変更しました。この社名には、保険代理店業の事業売却により環境関連事業の専業となること、また廃棄物処理という分野にとどまらず、あらゆる環境関連サービスで社会貢献を目指すという思いを込めています。

会社概要

設立：1961年10月

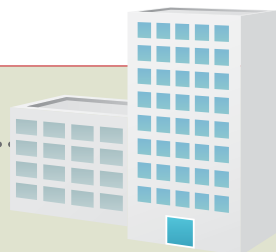
拠点所在地：

- 本社(東京都港区)
- リサイクルセンター(千葉県千葉市・埼玉県白岡市)

環境認証：エコアクション21

〈認証・登録番号0001240〉

ホームページ：<https://sinanenecowork.com/>



白岡リサイクルセンターのご紹介

■施設概要

木くずのリサイクル施設として、現在稼働15年目の千葉リサイクルセンターに次ぎ2拠点目となる白岡リサイクルセンターの操業を2018年10月より開始しました。ここでは排出事業者より処理委託を受けた木くずを破碎処理し、製造した木質チップを用途別に分類して出荷しています。



関東圏有数の大規模処理施設

騒音、振動、粉じん防止対策等に長けた完全屋内対応型施設です。



交通条件の良いエリア

圏央道白岡菖蒲ICより車で5分とアクセスが良く、広域エリアからの受入にも適しています。



今後の展開

シナネンホールディングスグループでは「総合エネルギーサービス企業グループへの進化」のために、再生可能エネルギーに関する事業構築を展開していきます。その際に大きな役割を果たすのがシナネンエコワークだと考えています。“真の循環型社会の構築”の実現に向けて、地域社会との共生を前提とした廃棄物リサイクルシステムを構築し、限りある資源の有効活用を推進していきます。

第13回

「いつもありがとう」作文コンクール

シナネンホールディングスグループでは、子どもたちの健やかな成長を応援することを目的として、「いつもありがとう」作文コンクールを共催しています。

シナネンホールディングスグループでは創業80周年を迎えた2007年から子どもたちの健やかな成長を応援することを目的として、「いつもありがとう」作文コンクールを共催しています。「言葉では言えない家族への感謝の気持ちを作文に書いてみよう」という呼びかけで全国の小学生から作品を募集し、毎年40,000通近い作品が寄せられています。小学生を対象とする作文コンクールとしては日本最大級の規模です。

シナネンホールディングスグループは本コンクールの開催を通して、家族の絆を生み出す感謝の気持ちを広げ、子どもたちの優しい気持ちと健やかな成長を応援していきます。

株主の皆様への感謝の気持ちを込めて、作品集を同封しています。

心揺さぶる多くの作品の中から選出された、よりすぐりの作品集となっています。どうぞ一読ください。



第13回「いつもありがとう」作文コンクールを開催中！



同封の作品集をご覧ください。



「いつもありがとう」作文コンクール
主催：朝日学生新聞社
共催：シナネンホールディングスグループ
後援：文部科学省・朝日新聞社

いつもありがとう作文

検索

連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

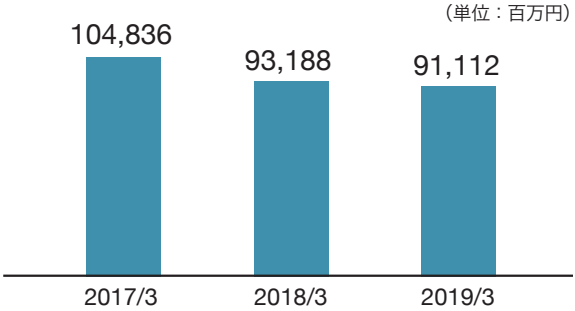
科目	前期末	当期末
	2018年3月31日現在	2019年3月31日現在
資産の部		
流動資産	45,959	45,300
固定資産	47,229	45,812
有形固定資産	30,141	28,635
無形固定資産	5,161	5,095
投資その他の資産	11,925	12,081
資産合計	93,188	91,112

単位：百万円

資産合計

911億12百万円

当期末の総資産は911億円となり、前期末と比較して20億円減少しました。主な要因は、有形固定資産が減少したことによるものです。



科目	前期末	当期末
	2018年3月31日現在	2019年3月31日現在
負債の部		
流動負債	35,097	33,228
固定負債	11,227	10,495
負債合計	46,324	43,724
純資産の部		
株主資本	44,959	45,727
その他の包括利益累計額	1,890	1,297
非支配株主持分	13	363
純資産合計	46,863	47,388
負債純資産合計	93,188	91,112

単位：百万円

純資産合計

473億88百万円

純資産は473億円となり、前期末と比較して5億円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益による利益剰余金の増加によるものです。

連結損益計算書 (要旨)

科目	前期	当期
	(2017年4月1日～ 2018年3月31日)	(2018年4月1日～ 2019年3月31日)
売上高	244,370	244,567
売上原価	212,772	214,396
売上総利益	31,598	30,171
販売費及び一般管理費	28,249	28,500
営業利益	3,348	1,670
経常利益	3,948	2,158
税金等調整前当期純利益	4,762	3,206
法人税等合計	1,893	1,618
当期純利益	2,868	1,587
非支配株主に帰属する当期純利益	1	△ 0
親会社株主に帰属する当期純利益	2,867	1,588

単位：百万円

営業利益

16億70百万円

営業利益は、前期比16億円(50.1%)減の16億円となりました。

売上高

2,445億67百万円

売上高は、非エネルギー及び海外事業が前年実績を上回ったことから、2,445億円(前期比0.1%増)となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

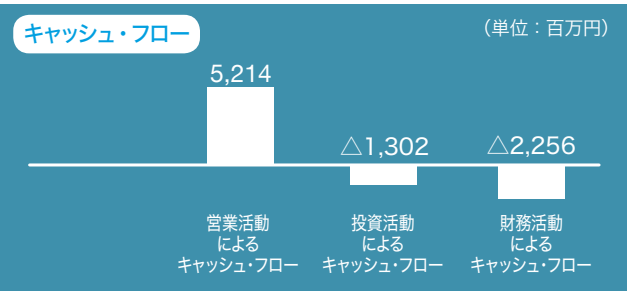
科目	前期	当期
	(2017年4月1日～ 2018年3月31日)	(2018年4月1日～ 2019年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	5,433	5,214
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,282	△ 1,302
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 15,227	△ 2,256
現金及び現金同等物の期末残高	7,217	8,768

単位：百万円

営業活動による
キャッシュ・フロー

52億14百万円

営業活動の結果得られた資金は52億円となり、前期と比較して2億円減少しました。この主な要因は、税金等調整前当期純利益、減価償却費の計上、たな卸資産の減少及び法人税等の支払によるものです。

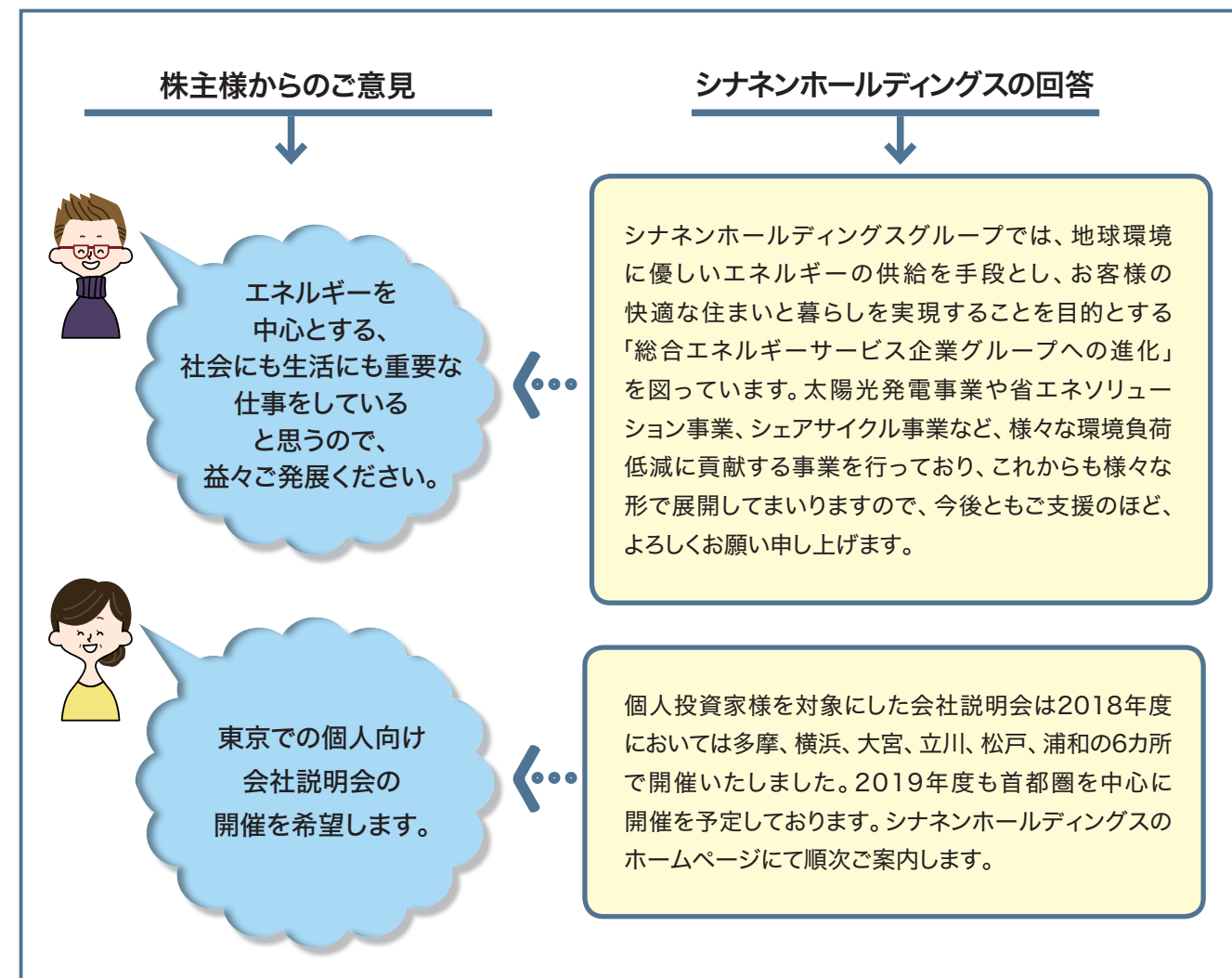


詳細は当社ホームページをご覧ください>>

シナネンHD IR 検索

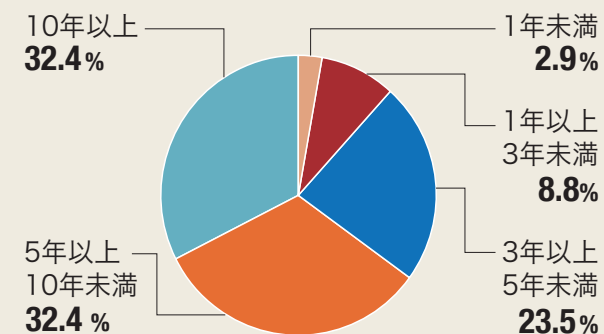
株主コミュニケーション

第85期上半期に行ったアンケート結果の一部をご報告いたします。
皆様からの貴重なご意見、ご要望を誠実に受け止め、今後の経営やIR活動のさらなる充実に向け、取り組んでまいります。

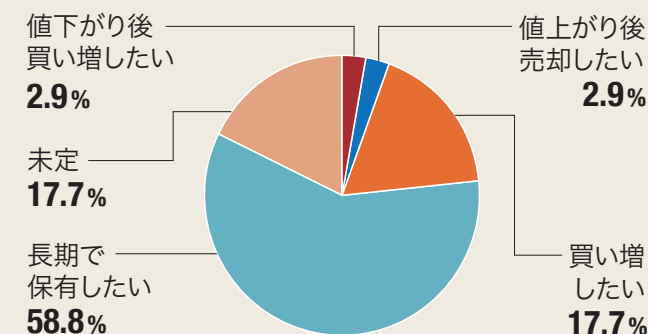


アンケート結果のご報告

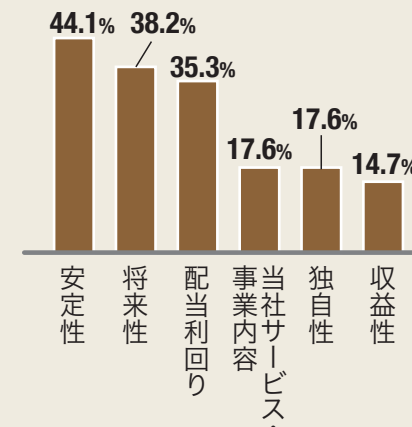
■ 当社株式の保有期間はどのくらいですか？



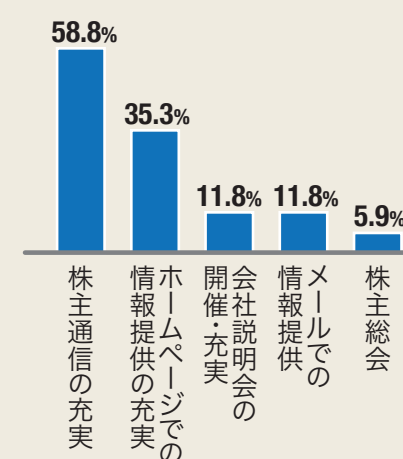
■ 当社の株式に対してどのような方針をお持ちですか？



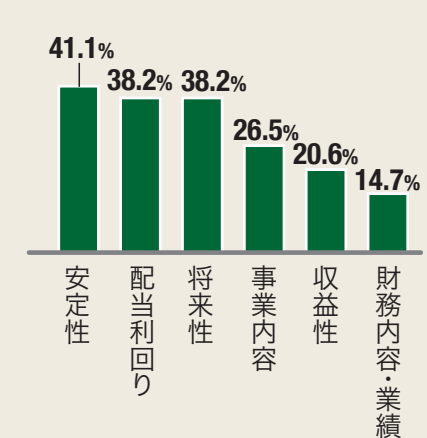
■ 当社の株式を購入された理由は何ですか？
(複数回答可)



■ 当社IR活動について、特に充実を希望されることは何ですか？
(複数回答可)



■ 当社の株式に対する方針を決定する際、特に重視するものをお知らせください。
(複数回答可)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から3月31日まで
剰余金の配当基準日	3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵 送 物 送 付 先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更・株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店および全国各支店・営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジ除く)
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご 注 意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵送物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。 みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続をされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。

公告方法 電子公告 (<http://www.sinanen.com/ir/koukoku.html>)。ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

会社概要 2019年3月31日現在

● 会社概要

商 号／シナネンホールディングス株式会社
本店所在地／東京都港区三田三丁目5番27号
住友不動産三田ツインビル西館6階
創 業／1927年4月11日
設 立／1934年4月25日
資 本 金／156億3,000万円
従 業 員／1,519名(連結) 56名(単体)

● 取締役 2019年6月27日現在

取 締 役 会 長 崎 村 忠 士
代 表 取 締 役 社 長 山 崎 正 毅
常 務 取 締 役 清 水 直 樹
社外取締役(監査等委員)(常勤) 小 川 常 司
社 外 取 締 役 (監 査 等 委 員) 重 森 豊
社 外 取 締 役 (監 査 等 委 員) 篠 連

● シナネンネットワーク

シナネンホールディングス株式会社 03-6478-7800
ミライフ株式会社 03-6478-7850
シナネン株式会社 03-6478-7900
シナネンサイクル株式会社 03-6478-7840
シナネンモビリティPLUS株式会社 03-6478-7906
シナネンエコワーク株式会社 03-6478-7830
〒108-6306 東京都港区三田3-5-27
住友不動産三田ツインビル西館6階
ミライフ西日本株式会社 06-6794-4711
〒547-0004 大阪府大阪市平野区加美鞍作3-6-14
ミライフ東日本株式会社 022-212-9530
〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビル12階
日高都市ガス株式会社 042-989-4041
〒350-1233 埼玉県日高市下鹿山473
株式会社シナネンゼオミック 052-653-3201
〒455-0051 愛知県名古屋市中川区中川本町1-1
株式会社ミノス 03-6436-3871
〒105-0022 東京都港区海岸2-2-6 プレミア海岸ビル5階

シナネンホールディングス株式会社

〒108-6306 東京都港区三田三丁目5番27号 住友不動産三田ツインビル西館6階
Tel: 03 (6478) 7800 Fax: 03 (6478) 7820

